

熊本城築城400年記念 激動の三代展

—加藤清正・忠広・細川忠利の時代—

築城前夜、加藤清正の時代、徳川幕府と加藤忠広、細川忠利の熊本入城という4部構成の展示です。肖像画、「朝鮮軍陣図屏風」、東京国立博物館から里帰りする加藤清正所用「片鎌槍」など、必見の展覧会です。

- ◎会期 / 10月12日(金)～11月25日(日)
- ◎休館日 / 10月22日、29日、11月12日の各月曜日
11月5日(月)は「障害のある方々の鑑賞デー」です
- ◎会場 / 熊本県立美術館本館
- ◎観覧料 / 一般600円、大学生400円、高校生以下無料

お問い合わせ先 / 熊本県立美術館
☎ 096-352-2111 FAX 096-326-1512



熊本城築城400年祭 第4章 秋絵巻

10月12日(金)～28日(日)
熊本城と城下街周辺で展開する、400年の歴史と文化への誘い

- ◎熊本の物産と郷土芸能(13日～28日※15日は休み)
 - ◎八代亜紀～ふるさと熊本城に唄う～(18日)
 - ◎熊本城太鼓響演会(21日)ほか
- ホームページ <http://www.manyou-kumamoto.jp/castle/400/>
お問い合わせ先 / 熊本城築城400年記念事業実行委員会
☎ 096-359-0400

「細川コレクション 永青文庫展示室」が オープンします!

国宝8点、国重要文化財31点を含め約5万点もの美術工芸品などを所蔵する「永青文庫」。熊本の歴史や豊かな文化を物語る品々の常設展示が、熊本城内にある県立美術館本館で平成20年4月25日(金)から始まります。
※永青文庫:細川家第16代護立(もりたつ)氏(1883～1970)が、同家伝来の品々を保存し、研究や展示公開を目的に、昭和25年に東京に設立した財団法人。

お問い合わせ先 / 熊本県立美術館
☎ 096-352-2111 FAX 096-326-1512



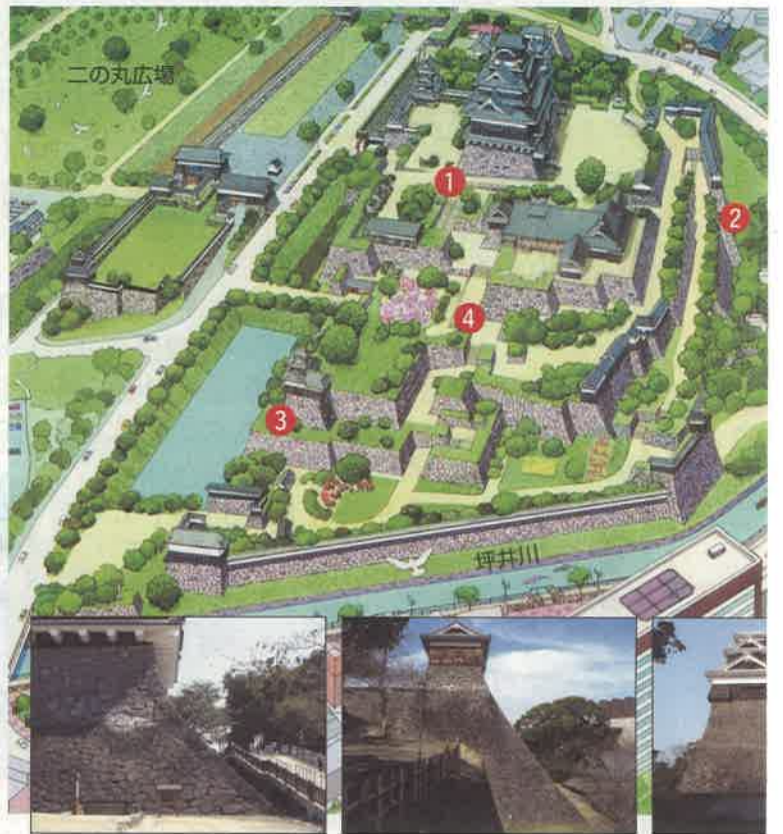
国宝 時雨蝶細鍔(しぐれでんくら) (鎌倉時代)

清正公は土木の神様!? 県内に残る治水跡

甲佐にあった二つの川を一つにまとめたといわれ規則正しく並ぶ石目が美しい堰(せき)。
鶏(う)の瀬せき(甲佐町)



慶長十三年(一六〇八年)に通水された菊陽町に残る農業用水路。水流を利用し、堆積する土砂を押し流す仕組み。
鼻ぐり井手(菊陽町)



- 1 慶長4年に造られた大天守の石垣
- 2 慶長6～12年に造られた東十八間櫓の石垣
- 3 慶長末に造られた

緩やか ← 石垣の勾配

肥後藩の各地域から熊本城への出入り口となっていた迎町や川尻。付近には、食堂や馬具、農耕の必需品だった鎌(かま)や鍬(くわ)などの刃物業者が栄えたものです。そして、兵服町・米屋町・鍛冶(かじ)屋町・大工町といった商品や職名に由来する町名が今も残っています。城と町並みの物語は四百年の時を越えて今もわたしたちに語りかけてくれます。
城下町として栄えた古町・新町地区。現在、平成二十三年春に迫った九州新幹線全線開業に合わせ、にぎわいのあるまちづくりが進められています。

熊本城への出入り口は?



「高麗門塩屋町絵図」(一部) 熊本県立図書館蔵

町づくりされた古町とは違い、熊本城以前の隈本(くまもと)城時代の武家屋敷の名残で、T字路やL字状の道筋になっています。
※隈本城:天正十六年(一五八八年)、清正が、肥後の北半分の領主として入国した折りに、居城とした城

た新町は、本来商業地域として

現代 城下町あれこれ
熊本城内や城下町などを巡る五つのコースを観光ボランティアガイドが案内する「熊本さるく」が十月から始まっており、地元の人だけが知っているまちの魅力が紹介されています。城下町をゆつくりと散策しながら、まちとの一体感や情緒を堪能してみませんか。



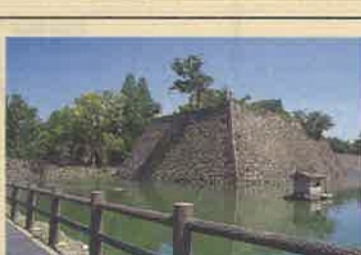
歴史と伝統を感じさせる町並み



お問い合わせ先
熊本国際観光コンベンション協会
☎ 096-359-1788

みんなで見て学

元和8年(1622年)加藤忠広(かとうただひろ)により築城。築城当時は、名古屋城(愛知県)と類似した配置で、本丸北西隅に天守があったもよう。城跡の一部は公園として整備され、近隣には八代市立博物館未来の森ミュージアムや、元禄元年(1688年)に建てられた松浜軒(しょうひんけん)などの見どころも。
●八代市立博物館未来の森ミュージアム ☎ 0965-34-5555 FAX 0965-33-9200



八代城跡

◎第20回やつしろ全国花火競技大会
開催日/10月20日(土)※小雨決行 会場/八代市唐磨川河川緑地
お問い合わせ先/やつしろ全国花火競技大会実行委員会事務局(八代市商政観光課内) ☎ 0965-33-4115

紺ぺきの海が見渡せる富岡城は、慶長10年(1605年)寺沢広高が砂州でつながった島に築城。山頂に本丸・二の丸・出丸、山麓に三の丸を配した山城で、現在の城は発掘調査の成果と国会図書館所蔵の白絵図を元に復元されたもの。出土した築城当時の石も使った石垣は、当時の美しい姿をわたしたちに伝えてくれます。
●富岡ビクターセンター ☎・FAX 0969-35-0170



富岡城

◎天草西海岸陶芸まつり
開催期間/10月9日(火)まで 場所/茶北町・天草市天草町
お問い合わせ先/茶北町商工観光課 ☎ 0969-35-1111